

事業・会議報告シート

日 時	令和4年10月19日（水）15:30～16:50
場 所	長浜まちづくりセンター1C会議室
参加者 (所属・氏名) 敬称略	出席者：松本会長、ネットワーク事業：高山、学卒：中島・田中、権利擁護：美濃部、虐待防止：鍵弥、重介護・医療ケア：河井、湖北健康福祉事務所：藤岡、長浜社協：葛川、長浜市：真壁・富永・吉田、基幹相談調整センター：喜田、ソーシャルインクルー(株)：高橋基永 事務局：橋本宏、松橋（計16名） (敬称略)
内 容 (経過)	<p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none">・松本会長 <p>1. 会議の趣旨説明（事務局より説明）</p> <p>(1) 定期評価会議について（実施要項を基に概要説明）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>協議の場の設置について</p><p>日中サービス支援型指定共同生活援助事業所は、地域に開かれたサービスをすることにより、当該サービスの質を確保する観点から、地方公共団体が設置する協議会等に対し、定期的に（年1回以上）事業の実施状況等を報告し、協議会等から評価を受けるとともに、当該協議会等から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければなりません。また都道府県知事が必要と認める場合には、事業所指定にあたり、日中サービス支援型指定共同生活援助を行おうとするものは、協議会等に対し運営方針や活動内容等を説明し、当該協議会等による評価を受け、その内容を都道府県知事に提出しなければなりません。</p><p>長浜市・米原市（以下、「湖北福祉圏域」という。）において、協議会等は長浜米原しょうがい者自立支援協議会を指します。協議の場は「日中サービス支援型指定共同生活援助事業計画評価会議」（新規指定等時、以下「事業計画評価会議」と言う。）と、「日中サービス支援型指定共同生活援助定期評価会議」（定期報告時、以下「定期評価会議」と言う。）と言います。</p><p>（指定基準省令 第213条の10、解釈通知 4（3）④参照）</p></div> <p>(2) 今後とも様式第2号「日中サービス支援型共同生活援助の指定に関する確認書」に記載されている事項を念頭に置き適正な事業の実施に努めていただくことを助言する。</p> <p>2. 参加委員の説明 ※別紙名簿参照</p> <p>自己紹介（出席委員・事務局）</p> <p>(高橋基永氏より自己紹介と事業所及び会社の概要説明)</p>

事業・会議報告シート

3. 事業所より事業報告（事業評価シートにより説明）

○ソーシャルインクルー(株) 運営第十三部 部長 高橋基永氏より説明

(1) 別紙2：日中サービス支援型指定共同生活援助 事業評価シート1

(2) 別紙2：日中サービス支援型指定共同生活援助 事業評価シート2

4. 質疑応答・助言・要望等

※注意：質問の趣旨に沿っていない事業所側の説明や回答があり、会議録においてはその全部を省略し記載しています。

・相談員が付いていない利用者があるとありますが。

⇒相談員はパートナーとして大切であり、長浜市に依頼し探していただき付けていただきました。現在は全員、相談員は付いております。

・自立生活に向けてのプログラムはありますか。

⇒企業とコラボし、職場見学、職場体験、雇用へとつなげる。

目標設定を大切にしています。社会に触れられるようなプログラムはたくさんあります。

・法人の理念等が現場の職員にしっかり降ろされていますか。

また、現場での虐待防止対策を聞かせて下さい。

⇒研修を行っております。2か月に1回の頻度。サービス向上にもつながっています。

・連絡体制の件、事業所内・法人内にマニュアルはありますか。

⇒意識の共有はできています。コロナ発生時にも対応できました。

その都度ヒアリングして指示を出している。

・今までに事故報告書は何件ですか？

⇒行政への提出は1件。内部処理は28件ほどだったと思います。

事故内容は、つまずきかけた。落ちかけた。食べかけた。などです。

・職員健康管理含んでの労働安全衛生法上についてお尋ねします。

⇒健康診断はもちろん、コロナ手当、衛生用品購入、夏季休暇など福利厚生については万全です。

・離職率について教えてください。

⇒離職率は、今年2月から6月までは20%以上ありましたが、私が管理するようになってから、現在においては5%以下となっています。

事業・会議報告シート

- ・感想ですが、事業運営について比較的全体において出来ているとの説明であったが、いくつかの相談事業所の話聞いた実態とかなりギャップがあります。運営に疑問点が残ってしまうことは否めない。
- ・要望ですが、まずは職員間の連携を強めて欲しい。深めて欲しい。
⇒対応できるホームを目指していきます。

- ・第三者委員会等の外部からの目は入っていますか。機能はありますか。第三者委員は設置されていますか。日常の運営について第三者に報告などされていますか。

⇒会社の中で完全に社外というわけではありませんが、社外のを監査役につけてやっている。ただこれはあくまで社内の監査役で外部の方を社内の監査役ということをつけている。社外にすべてを委ねているということではありませんが、社外での感覚、完全に会社の分離機関、社長直下で自分の会社のことを叱咤する感覚としてコンプライアンス部監査機関管理課というものはある。ただ、外部かという内部です。

- ・相談事業所からですが、モニタリングなどでの窓口はどなたになりますか。

⇒エリアマネジャーの4名です。

- ・以前に提出された「事業計画シート」と今回提出された「事業評価シート」に語尾が変わっているだけでほぼ同じになっています。しっかり事実を文面にされるようお願いします。

- ・相談支援専門員への聞き取り結果の報告（別紙を配布）
（聞き取り内容：良いところ、連携する中で気になること、改善を求めるところ、これから期待すること、利用者の声・様子・家族の声）
- ・圏域の相談事業所で聞き取りを行ないました。その内容をご覧ください。真摯に受け止め改善いただくようお願いします。
- ・また今後、自立支援協議会への積極的な参画を願います。

- ・どの回答においても、お話の的外れや過度な装飾が多すぎます。今後、シンプルな回答、明瞭簡潔な回答をお願いします。

5. その他（今後の流れの確認）

- ・4週間以内に会議録を送付
- ・次回評価会議は来年8月

次回協議日

事業・会議報告シート